

十一月二日から三日間

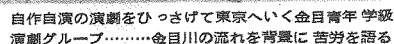
特別清掃区域内の
業者別し尿汲み取り区域

1

「ボクたちの学校道
 なくなった……写真左」

土に生きる悩み訴え

【山口特派員】「県大会で優勝です」「出しものは？」「仲間のまゝ訴えてみました。」「勝った感想は？」「うれい間／＼に生きる我々のなやみを本は？」「売っている脚本で



導者は「あゝおれ、せんべいも焼
研究した。」「いつかお茶でも
すよ。」と、小学校教員の出でな
りなり、公民館をのりたり
「県代表になつた預備はほ
足だ」と語大合会に居るだけけ
一。生け花の部では、さうして
運動場がヨット池にかかると
心配です。」「

昭和十一年四月、五ノ頃、
風雨したやうく、三ノ頃、
たらず、自分のレレレに上り
、村の墓場のなまをこのころ
化運動になつて去年の秋より
のをひきつて、蒲生町へ
の土庫をする、うしろへ
う。心かこめていた。

被害やでき具合
で刈り分ける

[illegible]

演劇でむすばれた仲間

若者たちの類は明る
 の恣徒の住見のが
 誘眼盤」を仕上げた
 十九年のこと。
 「しろ」長男」
 とお召し書き、お
 合にたまし
 合てきた七
 年だつた由。
 村の本人大
 うだが、
 いつも胸によつて暗

野島特派員

山口特派員
 (教育研究所長)



野島特派員



山口特派員
(教育研究所長)

読者のための
相談室

投票には住所・氏名・職業を明記のこと、掲載分に記念品を贈ります

防犯のための街灯をたて、街灯料を出しあっているが、不足がちで、暗くなっている。公共的なところだけで維持費を出してもらえないか。

お答え 現在、16カ所の公園の街灯は、市で設置し、維持しています。将来は、公共施設全般につけていきたいと考えています。公設以外の街灯維持費の補助は、困難です。街灯の新設に対しては、街路灯設置規程をつくり、予算も初回50灯分を計上し、1灯につき最高1,000円の設置補助金を出していくことになりました。(民生課)

(民生課)

坊やの日記

—夏休み帳から—

「もうなく、『ようはれたたけ』と未だ僕が言ってもいいんだ。」と云ひのぞけて渡りにきました。お父さんさは何を書いたんだろう？好都合なさい。」と、赤い顔をしてお父さんが言った。僕はうけかねて、下へ降りてしめました。

八月×日（白曜日）お父さんといっしょに、夏休みの宿題になった。

—ラジオ

二ッポン放送、毎週日曜朝七時三十分、毎回の合時間々周波数7310 —ラジオ

ラジヲ
ニッポン放送・毎週日曜日
朝七時三十分〆話し合の
時間〆周波数・130
ラジヲ

本と映画

【図書】とべたら(2)。(理論社)・アイヌ伝説(さえら書房)
 富士山(さえら書房)・おじさんのランプ(大日本図書)
 ジムナチン物語(創元社)・カッパ小僧(理論社)
 山の終なき(筑摩書房)・採集と観察と図鑑(講談社)
 大空に生きたる(牧書店)・とちやんの日記(岩波書店)
 わかる計算法(岩崎書店)・名探偵カッとスパイ団(〃)
 三休さん(理論社)・こんぎつね(大日本図書)
 ヴェーベル(成成社)

【映 画】 親らん（東映）親らんの青年期を探って深い感銘を
眠れる森の美女（米デイズ・ニュープロ）おとぎ話を美しいカラー
でみせる 私は忘れない（松竹）黒島の人達の姿を明るく描く
旅路はるか（イタリア・フィルム）母をたずねて遠くいく子の物語
ワンワン冒険除物語（ハンガリー映画）狼犬とタカの冒険旅行物語
白鳥の湖（ソ連映画）



話し合いの広場

選挙管理委員会が食
食後のひとときにお
くる話し合いの経緯

新平塚風土記 No. 55
寄木神社あり
し日の大櫓
高麗 櫻 寺

高 麗 禮 拜



きり倒される直前の神木
齋木神社の大けやき

平塚市大神（おおかみ）の鎮
守寄木（よりぎ）神社の祭神は
大己貴命（おおなむちのみこと）
であるが古記には「天照大神
宮を勧請せしという。神号の由
来詳ならず神体秘して聞かず」
とある。もとは天照大神を祀っ
ていたものとみえる。土俗の伝
えによれば神体は流れ木である

という。昔は相模川流域の各地に集木場が置かれ筏士が住んでいた。その集木場のひとつにまつられたのがこの宮で神号もそれにちなんだものではあるまいか。

境内に大榎（ひやき）があった。新編相模国風土記に「親の大榎（約一丈三尺余）を神木」とすと載っている。平塚市最大の樹であった。戸川市長もこれの保存については意をもち、一昨年春は実地に調査したこともあった。また昨年の春には教育委員会の渡辺社会教育課長が専門家とともに検証したが樹幹の境界について確説を得ることができなかった。一方地元では倒木の危険をおもひかかって伐採を主張する人々と神木保存を希望する人たちが対立したこともあったが結局昭和34年11月25日に伐り倒した。枝下約13m、通り5.7m、樹令は700年であったという。新編風土記が續いてから120余年の間に直径が55cmほど肥大したのである。樹令を逆算してみると弘長の頃にある。弘長3年11月22日北条時頼(37才)が歿している。もって時代を知ることができよう。¹ 上の老大榎を記念して氏子の名により「名木を偲ぶ碑」が今年4月境内に建立された。

おかあさんが
政治家になる投票日

神奈川県公明選挙標語入選作品

相陽中学校 座間ムツ子